



残暑は厳しいものの、朝夕の涼しい風に秋の気配を感じるようになりました。夏風邪等の感染症や夏の疲れで体力が落ちているこの季節は、体調を崩しやすく、他の感染症にもかかりやすくなります。毎日の体調の変化にご注意ください。

9月9日は「救急の日」です。この機会に、もしもの時に備え、応急手当ての方法の確認、救急箱の中身のチェックをしておきましょう。

転んで落ちて…頭を打ったときのケア

赤ちゃんや子どもは転んだり落ちたりして頭を打つことがよくあります。その時に怖いのが、頭蓋骨内でじわじわと出血して、時間差で症状が出ること。脳自体には損傷がないため、受傷後は無症状でも、徐々に出血がひろがって脳を圧迫し、時間が経ってから症状が出てくる場合があります。頭を打ったら、注意深く症状を見てあげましょう。

すぐに病院に!

- 繰り返し吐く。
- 意識がもうろうとしている。
- 手足の動きがいつもと違う。
- けいれんやひきつけが起る。
- 打ったところが陥没している。出血がひどい。



上の項目にあてはまらないときは、次の点を守って、1~2日間は注意して様子をみましょう。

- コブが出来たら、冷たいタオルや氷のうなどで冷やしましょう。
- 当日はお風呂に入らず、静かに過ごさせる。
(頭蓋内で出血していた場合、入浴して血行が良くなることで症状がすすみます)
- 症状が出てきたらすぐに受診する。

少しずつ顔色が悪くなる、吐き気が出る、頭痛がひどくなる
呼びかけても起きない、ものが二重に見える、手足に力が入らない

頭部CTについて

乳幼児は脳神経が成長の途中なので、CTによる被曝リスクが高くなります。また、睡眠薬等で眠らせて検査を行う必要があり、意識レベルの確認が難しくなります。頭蓋骨の骨折や頭蓋内の出血が疑われるときには検査が有用であり、検査を行うかどうかの慎重な判断が必要です。



救急箱の中身、 チェックしてますか?

家庭で救急箱を常備していますか?薬や滅菌ガーゼは使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。

CHECK!

絆創膏

けがをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利。



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です。



体温計



ガーゼと医療用テープ

傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう。



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったとげを抜いたりするのに使います。



常備薬

(虫よけ、かゆみ止め、化のう止めなど)



子どもの救急医療相談

夜間に子どもが急病になった時、「すぐに受診させた方がよいのか?」「翌朝まで待ってもいいのか?」判断に迷ったときは、広島県の電話相談窓口にて、看護師に相談することができます。

電話番号: #8000 または

082-505-1399

受付時間: 毎日午後7時~翌朝8時

先月の子ども達の様子

ヘルパンギーナ

RSウイルス

新型コロナウイルス感染症

の発症がありました